町内県有施設の調査研究報告

～県緊急財政対策～

第２報

総務環境常任委員会
渡辺・府川・川村・原
岩本・熊澤・瀬戸（恵）

県が廃止予定の町内4施設

ユーシンロッジ

丹沢湖ビジターセンター

大野山乳牛育成牧場

大野山乳牛育成牧場まきば館

ユーシンロッジ

1970（S45）年設置

玄倉川上流の野外体験施設

県民のレクリエーション施設

丹沢湖ビジターセンター

1996(H8)年設置

西丹沢地域の自然解説と情報提供

水源地域交流の里づくり

大野山乳牛育成牧場

1969(S44)年設置

優良乳牛の育成

放牧での合理的開発と畜産業理解

大野山まきば館

2007(H19)年設置

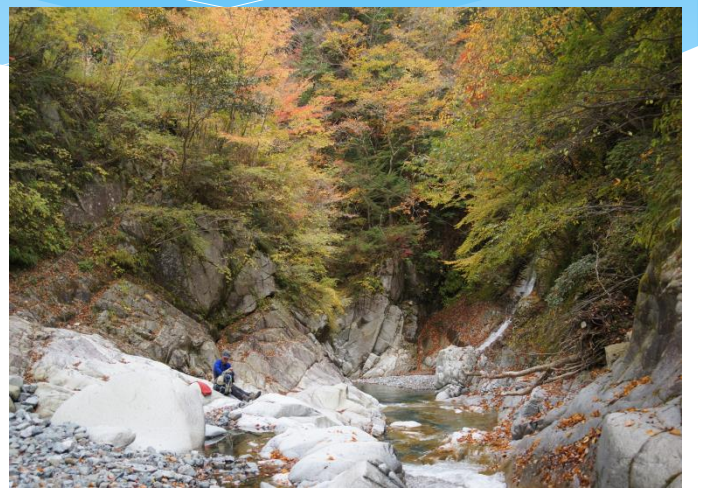
県民が畜産業の理解を深める場

ユーシンロッジ

- 県の方向性　⇒　町への移譲
- 町への提言　⇒　西丹沢登山の拠点・民間への委託
- 町回答　　⇒　議会と同様の考え方
- 県回答　　⇒　民間への移譲を検討中

新たな議会の考え方は？

ユーシンロッジ
議会としての考え方



NPO法人へ委託

（その理由）

・県内きっての渓谷美

・丹沢山岳ルートの要所・緊急避難所

丹沢湖ビジターセンター

・県の方向性　⇒　西丹沢自然教室へ集約、
H27年3月末廃止

・町への提言　⇒　玄倉地域の町・県施設に整理統合
地域・観光客の避難施設として活用

・町回答　⇒　議会と同様の考え方

・県回答　⇒　独立採算事業は困難

新たな議会の考え方は？

丹沢湖ビジターセンター
議会としての考え方

登山者やハイカーの
拠点として民間へ委託

（その理由）

- ユーシン渓谷や県民の森へのアクセス基地
- ユーシンロッジとの連携による利活用
- 地域と登山者の安全対策

大野山乳牛育成牧場

・県の方向性　⇒　防災・観光は念頭に
H28年3月末廃止

・町への提言　⇒　防災・道路対策、地域・観光振興

・町回答　⇒　議会と同様だが、法の制約あり

・県回答　⇒　機能廃止（畜産団体も廃止了承）

大野山まきば館

・県の方向性　⇒　建物は無償譲渡・土地は無償貸与

・町への提言　⇒　牧場と一体となった利活用

・町回答　　⇒　単独での費用対効果が見込めない

新たな議会の考え方は？

大野山乳牛育成牧場とまきば館
議会としての考え方

重点課題は継続的に捉え、牧場施設を活かし食をテーマとした民間活用

大野山乳牛育成牧場とまきば館は一体で考える

（その理由）

・核となる施設を置くことで防災対策・道路対策・観光振興・地域振興の課題解決につなげる

まとめとして

議会は町民の声を聴きながら
町と連携をとり、県の動向を注視
し総合的に調査研究を継続

スマートＩＣ設置により期待される効果

総務環境常任委員会

渡辺・府川・川村・原

岩本・熊澤・瀬戸（恵）

平成33年3月　清水地域に開通

進入路となる『清水やまなみ橋』

早期実現に向けた要望活動

・平成25年7月　神奈川県知事へ要望書提出

・平成26年7月　国土交通省へ要望活動
（町長・議長・国会議員・県会議員）

スマートICの必要性

① 観光振興への寄与
② 救急医療サービスの向上
③ 災害時の代替えルート確保
④ 工業団地などへのアクセス性の向上
⑤ 広域的な地域活性化への期待

期待される効果①

観光振興への寄与

アクセス性向上による観光入込客の増加

- **丹沢湖中川温泉**へのつながり
- 県道**山北藤野線**への接続
- 南箱道路との連携による**回遊性のある観光**

（洒水の滝・大野山・河村城跡）

期待される効果②

救急医療サービスの向上

高度救命救急センターまでのアクセス性向上による救急医療体制の充実

・東海大学病院などへの**時間短縮**

期待される効果③

大規模災害に備えた代替えルート確保

- 国道246号の通行止め
- 災害時の人命救助や物資の救急輸送
- 復旧支援の迅速化

期待される効果④

工業団地などへのアクセス性

⇒　企業活動における利便性の向上

・諸渕工業団地・平山工業団地

・土地活用の促進

期待される効果⑤

広域的な地域活性化

・広域的な交通拠点の形成
・県西地域や県境を越えた
広域的な地域活性化

おわりに

議会と町民と町が一体となった
魅力ある地域づくりの実現